

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	岩崎幸弘
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	深見礼子



2019～2020年度名古屋アイリスRCのテーマ

アイリスは 希望に満ちて 新時代
～前途洋々～

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第286回 例会 (ガバナー補佐訪問)

2019年9月4日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会運営・司会委員長
- 斉 唱 君が代 奉仕の理想
- 出席報告 出席者数 21名 / 34名
出席率 61.76%
- ゲ ス ト ガバナー補佐 吉田正道様
地区副幹事 杉浦賢二様
分区幹事 亀井敏勝様
- ビジター 名古屋栄RC 西田充宏様
米山奨学生 施艶霞さん

ニコボックス

- 吉田正道 ガバナー補佐、杉浦賢二 地区副幹事、亀井利勝 分区幹事
ガバナー補佐訪問にてお世話になります。勉強させて頂きます。宜しくお願い致します。
- 岩崎幸弘 会長
本日は、吉田ガバナー補佐様、杉浦地区副幹事様、亀井分区幹事様、ようこそあいりすへ。きびしく、やさしくご指導賜ります様お願い申し上げます。
- 加藤正広 幹事
吉田ガバナー補佐初はじめ杉浦地区幹事、亀井分区幹事様、j 本日はありがとうございます。お手柔らかに宜しくお願い致します。
- 安井忠 会員増強委員長
吉田ガバナー補佐、杉浦地区副幹事、亀井分区幹事様をお迎えして。岡本君いろいろありがとう。
- 藤谷猛 クラブ戦略委員長
本日は、吉田ガバナー補佐をはじめ地区の方々にお越し頂き感謝申し上げます。この後のクラブ協議会もどうぞより敷くお願い致します。

会長挨拶

みなさん、こんにちは。

本日は、「東名古屋分区ガバナー補佐 吉田正道(よしだまさみち)様」、「地区副幹事 杉浦賢二(すぎうらけんじ)様」、「分区幹事 亀井敏勝(かめいとしかつ)様」をお迎えしての例会であります。



本日も 出席いただきまして まことにありがとうございます。吉田ガバナー補佐ようこそ名古屋アイリスロータリークラブ例会へお越しくださいました。明るい会場 おいしい料理 希望にみちた出席者全員で歓迎申し上げます。そして地区副幹事

の杉浦様 分区幹事の亀井様どうぞごゆるりと ANA ホテルグランコート名古屋 自慢の和弁当と、楽しい語らいのお時間をお過ごしください。

さて、皆さんご存知のとおりロータリーでは、毎年 8月から翌年度の6月まで月間や週間、あるいは日の単位で特別なテーマが18個決められています。この9月は、本年2番目のテーマ「基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間」となっております。そこで皆さまにお願いがあります。ぜひ ロータリーの友を読みましょう!

読んでる方には・・・ ごめんなさい。ロータリーの友7月号の30ページにはわたしたちの所属する第2760地区の伊藤ガバナーの紹介記事が載っています。ガバナーの横顔 というテーマです・・・伊藤靖祐(いとうやすすけ)さんて「どんな人?」というところですが、わたしが一番目についたところは、みんなハロー!(みんな はろー ビックリマーク付)のキャッチです。明るく率先して声をかけ、場を和ませる達人 と称される伊藤ガバナーを表現するにはなんともダサかつこいことばではないでしょうか。わたくしも会長研修でマンツーマンでお話をする際に緊張するわたくしに対して、やさしく接していただき実に気配りと気遣いをされる方なんだと実感をいたしました。

しかし そんなわたくしも 会長をやらせていただいて 早や2ヶ月、本当に たよらない奴ですみません。こんな男にいわば人生のチャレンジの機会を与えてくれて、みなさんほんとうにサンキューです。

今、この時代の変化におもしろおかしく柔軟に適応するためには、つねに前向きに学ぶところと その不断的な努力が、新しい価値観をつくりあげていく力になるのだと思いました。まず、自分自身を活性化させ、本当の意味での人と人との親睦や連携の強化を図り、いい人生を作りあげようではありませんか。なぜロータリーに入会しているのかと問われたときに、明快な回答ができるかどうか、私たちは常に自問自答

する必要があります。泣いて笑って感動する。これが私のモットーですがそんなクラブにしていきたいと思います。私たち、一人一人が、これから自分にとって心に残るロータリー体験を持ちましょうよ。あと10ヶ月、よろしくお助けくださいませ。

これで 本日の会長挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

卓話



吉田正道ガバナー補佐

「奉仕理念」は「職業および人生における成功と幸福の真の基礎」であり「人を思いやり人のお役に立つこと」「利己と利他の調和」という、わかりきったごく初歩の原理原則です。このわかりきったごく初歩の原理原則を奨励・育成・実践するのがロータリーの目的です。しかし、この原理原則を忠実に実行することは難しいのです。ことに職業奉仕における「利己と利他の調和」という矛盾。『「矛盾」に対峙することがマネジメントの本質であり、「矛盾」の両極の間でバランスを取ることがマネジメントの役割である』と申します。実業社会のリーダーであるロータリアンにはそれが求められていると考えます。

ガバナー補佐のミッションはガバナーとクラブを「つなぐ」ことにあります。ガバナーは地区の管理者として「ロータリーの目的」達成のため、国際ロータリー会長が掲げた年間活動の基調指針、行動計画をうけて地区内の各クラブを啓発し、さまざまな奉仕プログラムへの参加を奨励します。ために、わたくしは貴クラブを探訪し、見聞し、伝え、幾分かの協力要請をいたすこととなるのです。

個人として、このミッション達成のための基本方針に「3つの尊重」を掲げました。1つは「クラブ自治の尊重」、2番目に「クラブの系譜・歴史の尊重」最後に「職業奉仕の尊重」を据えました。

さて、ロータリー年度も既に2か月余を経過し、マーク・ダニエル・マローニーRI会長の「年間テーマ」「重点事項」そして伊藤靖祐2760地区ガバナーの「地区活動方針」もよくよくご理解いただいていることと存じます。従いまして、この場ではフォローアップの意味でお話しさせていただきます。

マーク・ダニエル・マローニーRI会長は同じくロータリアンである婦人を伴って東北地方を皮切りに日本訪問をされ、8月8日から10日まで来名されました。出身のアラバマ州の愛称は「ハート・オブ・デキシー」（南部の心臓）また、「バイブル・ベルト」と称されるように一般的に保守色の強い地域です。しかしながら、マローニーRI会長は現在のロータリーに危機感をもたれ、変革の先頭に立っています。また、名古屋からの交換留学生の受け入れ（残念ながら、その方は若くして逝去された）を縁に3度目の来名とのことでした。大阪の国際大会の委員会アドバイザー

などを務め、極めて日本との「つながり」が強い方です。伊藤靖祐ガバナーは中学、高校の後輩であり、やはり強い「つながり」を感じざるを得ません。

どうぞ皆さま、マローニーRI会長、伊藤靖祐ガバナーと志の「つながり」を持たれ、ロータリーの価値・強味であるクラブ、地域をはじめとする国際的「つながり」を生かして「奉仕理念」の実践に邁進いただきたく存じます。



例会を終えて



クラブ協議会

ガバナー補佐訪問終了後、14:10 より同会場にてクラブ協議会が行われました。吉田ガバナー補佐、杉浦地区副幹事、亀井分区幹事様に御指導いただき充実した時間となりました。また3年未満の会員も参加し、ロータリーの在り方を学ぶ良い機会を得る事ができました。

